

ダイキン工業 × Nessum 次世代通信で空調価値を革新

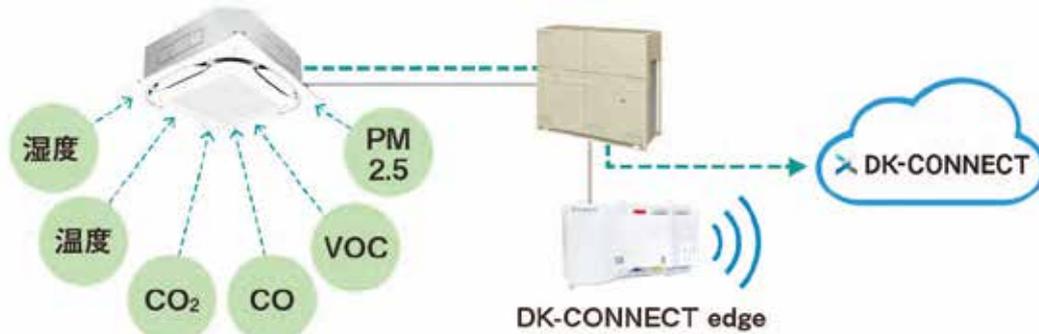


① 背景:空調通信の限界と課題

- RS485/独自プロトコルでは速度・拡張性が不足
- 配線手間が大きく、人手不足により施工負荷がさらに増大

② ポイント:Nessumが解決した3つの価値

1. 既設配線を活用
線種不問、トポロジーフリーで施工負荷を大幅に削減
2. 低速有線通信の高速化
数Mbps～数十Mbpsで高度な空調制御を実現
3. 通信のIP化
空調機の遠隔設定を実現し施工・運用を効率化
VRV7シリーズの次世代通信方式としてNessum採用(2024年11月発売)



出典:ダイキン工業株式会社 HP

次世代仕様の環境・快適性能
～ センサーデータを室内ユニットで集約し、クラウド上に記録・保管 ～

③ Nessumの技術力:空調通信を次の次元へ

- 最大1,024台デバイス接続、マルチホップで大規模ネットワークを構築
- ノイズ環境に強い高度な信号処理による安定通信
- 暗号化による高いセキュリティ
- 国際標準規格 IEEE 1901 に準拠した技術基盤

既設配線を“そのまま”IP通信へリユース 大規模改修なしで空調通信をアップグレード